

概要版 和泉市上下水道耐震化計画

① 計画策定の経緯

● 上下水道耐震化計画の策定について

「令和6年9月24日付け国官参水第64号他、国土交通省大臣官房参事官（上下水道技術）、水管理・国土保全局水道事業課長及び下水道事業課長通知」

国内全ての水道事業者等及び下水道管理者に対して、上下水道一体で耐震化を推進するため「上下水道耐震化計画」を策定するよう要請あり（加えて本計画の策定は今後の国補助金の要件になるとの通達あり）

- ・能登半島地震では上下水道施設に甚大な被害が発生
- ・浄水場や下水処理場及びそれらの施設に直結した管路等、被災すると広範囲かつ長期的に影響を及ぼす上下水道システムの急所施設の耐震化が未実施であったこと等により、復旧が長期化
- ・避難所・防災拠点等の重要施設において災害時に従前どおり水の使用を可能とするため、水道と下水道の両方の機能を確保することが重要であり、接続する上下水道管路の計画的・重点的な耐震化が必要

② 国が示す計画の対象施設・管路

● 急所施設（その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）

【水道】

取水施設、導水管、浄水施設、送水管、配水施設（配水池及び浄水池）、ポンプ所

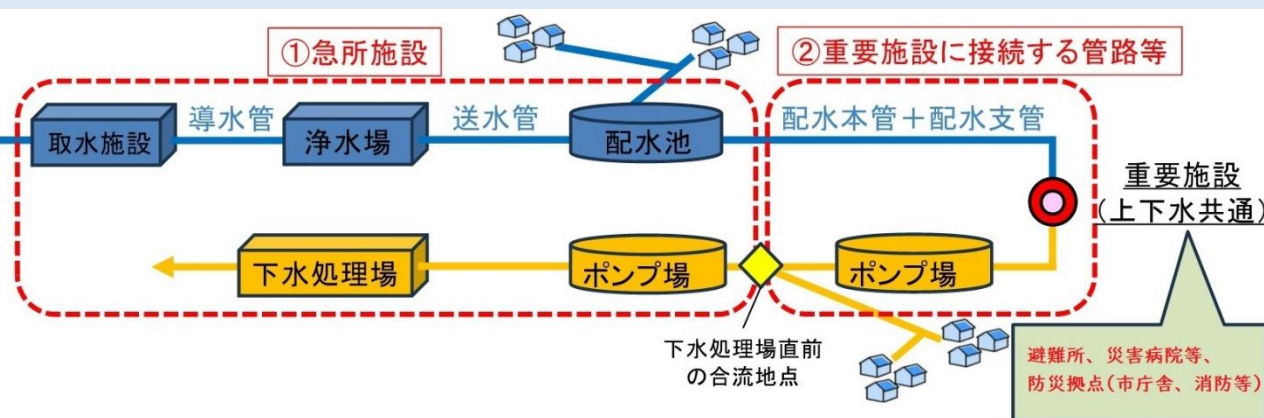
【下水道】

下水処理場、下水処理場から直前最終合流地点までの下水道管路、下水処理場から直前最終合流地点までのポンプ場

● 避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等

【水道】 重要施設に接続する配水本管及び配水支管

【下水道】 重要施設から下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路
重要施設から下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場



③ 目標・計画期間

(本編P1)

計画期間

● R7(2025)年4月からR12(2030)年3月まで
(耐震化完了目標に向けた当初5年間)

目標

- 急所施設（水道施設のみ該当）
あり方について検討中の水道施設を除き、R11末までに全施設耐震化完了
- 避難所等の重要施設に接続する上下水道管路
R5末時点で6施設に接続する上下水道管路が耐震化完了済み
⇒ R11末までに21施設完了(水道管路については全て完了)
⇒ 計画開始から概ね20年間で全施設耐震化完了

④ 重要施設の設定(上下水道共通) (本編P1)

設定の基準

和泉市地域防災計画を参考に市内42施設（裏面参照）を重要施設として選定し、該当施設に接続する上下水道管路の耐震化を優先して進める。

● 避難対策上、重要な拠点となる指定避難場所、指定福祉避難所

- 地域防災計画に記載されている又は記載予定のある避難所を選定
※池上小学校、幸小学校、富秋中学校は(仮称)富秋学園に統合予定であり、建物が残置される予定はないことから計画から除外
※横山小学校は榎尾学園に統合予定であり、残置している建物の今後の活用方針が未定であることから計画から除外

● 災害対応上、重要な拠点となる市庁舎、消防など（防災拠点）

- 災害対策本部が設置される和泉市役所、上下水道復旧の本部となる上下水道部庁舎（中央受配水場）、救命・救助活動の拠点となる消防署を選定

● 災害医療上、重要な機関となる災害病院、人工透析を行う医療機関など

- 地域防災計画に記載のある市災害医療センター、災害医療協力病院、大阪府に登録のある災害医療機関を選定
- 市内透析医療機関を選定
※優先的に水道管路の耐震化を進めるよう国通知あり（「基幹病院等及び透析医療機関に至る水道施設の耐震化等について（平成19年8月23日付け厚生労働省健康局水道課事務連絡）」）

管路耐震化状況

施設種別	全施設数	管路耐震化済数(R5末)
指定避難所	28施設	4施設
指定福祉避難所	2施設	0施設
防災拠点	4施設	1施設
災害病院等	8施設	1施設
〔合計〕	42施設	6施設

⑤重要施設一覧(本編P1)

			上下水道管路等の 耐震性能確保済みの施設数	
種別	施設名	令和5年度末時点	令和11年度末迄	
1	指定避難所	和泉中学校		
2	指定避難所	国府小学校		
3	指定避難所	伯太小学校		○
4	指定避難所	黒鳥小学校		
5	指定避難所	郷荘中学校		○
6	指定避難所	芦部小学校		○
7	指定避難所	和気小学校		
8	指定避難所	北池田中学校		
9	指定避難所	北池田小学校		
10	指定避難所	いぶき野小学校		
11	指定避難所	南池田中学校		
12	指定避難所	南池田小学校	○	○
13	指定避難所	青葉はつが野小学校	○	○
14	指定避難所	光明台中学校		○
15	指定避難所	光明台北小学校		○
16	指定避難所	光明台南小学校		○
17	指定避難所	石尾中学校		
18	指定避難所	北松尾小学校		
19	指定避難所	緑ヶ丘小学校		
20	指定避難所	信太中学校		
21	指定避難所	信太小学校		
22	指定避難所	鶴山台北小学校		
23	指定避難所	鶴山台南小学校		
24	指定避難所	南松尾老人集会所		○
25	指定避難所	南部リージョンセンター	○	○
26	指定避難所	南松尾はつが野学園	○	○
27	指定避難所	槇尾学園		○
28	指定避難所	(仮称)富秋学園		○
29	指定福祉避難所	北部総合福祉会館		○
30	指定福祉避難所	総合福祉会館		
31	防災拠点	和泉市役所		○
32	防災拠点	上下水道部庁舎(中央受配水場)		○
33	防災拠点	消防本部・和泉消防署		
34	防災拠点	中央消防署	○	○
35	災害病院等	市立総合医療センター	○	○
36	災害病院等	咲花病院		○
37	災害病院等	府中病院		
38	災害病院等	咲花クリニック		○
39	災害病院等	光生病院		○
40	災害病院等	阪和いずみ病院		
41	災害病院等	和泉中央病院		
42	災害病院等	大阪母子医療センター		
			6施設	21施設

⑥個別事業に関する計画

(本編P3~6)

水道事業に関する計画

(本編P3・4)

【急所施設】

施設	対象施設数	全施設能力有効水量	耐震化目標(施設数)(R5末→R11末)	耐震化目標(施設能力・有効水量)(R5末→R11末)	達成率目標(R5末→R11末)
取水施設	1	2,000m ³ /日	0 → 0	0m ³ /日 → 0m ³ /日	0%→0%
浄水施設	2	12,000m ³ /日	1 → 1	7,000m ³ /日 → 7,000m ³ /日	58%→58%
配水施設	22	59,506m ³	17 → 19	51,786m ³ → 55,837m ³	84%→94%
ポンプ所	3	21,082m ³ /日	2 → 3	19,930m ³ /日 → 21,082m ³ /日	95%→100%

管路	対象管延長	耐震管・耐震適合管	耐震適合管以外	耐震化目標(耐震管・耐震適合管)(R5末→R11末)	達成率目標(R5末→R11末)
導水管	400m	230m	170m	230m → 230m	58%→58%
送水管	24,200m	21,600m	2,600m	21,600m → 23,500m	89%→97%

※ 取水施設および浄水施設についてはあり方を検討中であるため、計画期間内未着手

※ 該当施設間を繋ぐ導水管についても未着手

【重要施設に接続する水道管路】

配水管	対象管	耐震管・耐震適合管	耐震適合管以外	耐震化目標(耐震管・耐震適合管)(R5末→R11末)	達成率目標(R5末→R11末)
本管	13km	13km	0km	13km → 13km	100%→100%
支管	35km	22km	13km	22km → 35km	63%→100%
計	48km	35km	13km	35km → 48km	73%→100%

下水道事業に関する計画

(本編P5・6)

【重要施設に接続する下水道管路】

	対象	耐震性能確保済み	耐震性能未確保	耐震化目標(R5末→R11末)	達成率目標(R5末→R11末)
下水管	37km	27km	10km	27km → 29km	73%→78%

※ 下水道の耐震化事業は、汚水処理概成に向けた新規整備事業、ストックマネジメントに基づく改築・更新事業と並行しながら実施していくため、耐震化の目標達成には長期間が必要となる。